

豊受神社の御分社

西組若衆の神酒所に迎える豊受神社の大神様の御分霊
2024年の御分社式は5月25日に執り行われる

2012年の例大祭からは、例大祭が始まる前から神酒所の敷地に設けた「御分社」に豊受神社の御霊を遷座している。

前回16年の例大祭では、5月28日に御分社式が執り行われた。豊受神社で祝詞の奏上や玉串奉納などの神事を行い、西組若衆神酒所まで宮司や神社総代、西組若衆らのご神体とともに歩いて移動。神酒所に建てられた御分社に到着すると、御霊に遷座してもらう神事が行われた。

今回の例大祭でも御分社が設けられ、御分社式は5月25日に執り行われる。また、西組若衆の神酒所が

開かれる「神酒所開き」は5月19日だ。御分社式と同日の25日夜には、神酒所や中央公民館前の通りに設置された提灯の点灯式が行われる。一斉に提灯の明かりが灯る様子は美しく感動的で、いよいよ例大祭へのカウントダウンが始まったと感じさせる瞬間だ。



2016年の奉戴祭の様

豊受神社の宮神輿2基は、若衆組織の「西組若衆」と「東組連合」が1日交替で1基ずつ受け持って渡御する。西組若衆の神酒所は中央公民館の向かいにある駐車場、東組連合の神酒所は神社と大三角線を挟んだ向かいの市有地に設置される。

例大祭の期間中に西組若衆が受け持つ宮神輿は、西組若衆の神酒所に置かれる慣習となっている。さらに



ひと
Vol.5

浦安花輪 福田杏律奈 (29)

楽しい場所だと知ってほしい

1972年に祖父洋二さん(故人)が浦安市猫実2丁目に創業した葬儀社「浦安花輪」に勤める。三社例大祭は参加したのは「物心もない」頃からだ。洋二さんは葛西囃子「丸音會」に所属し、祭は家族総出。訳も分からず肩車をされ、見様見まねで扇子を振りながら「マイダ、マイダ」と叫んでいた。2012年の例大祭から豊受神社西組若衆の役員を務める。

元町地区の「ご近所はみな親戚」のような濃密な人間関係の中で育った。大学の友人

たちを浦安に連れてくると、必ず地元の知り合いに出会い、初対面の友人に対しても気さくに話しかけてくることに驚かれた。自分の育ってきた環境が当たり前ではないことを知った。

2023年7月に、岩手県出身の拓斗さん(29)と結婚した。3年前の年末年始は拓斗さんの都内の自宅で過ごした。例年は神社の囃子の音や参拝者への振る舞いで賑やかな中、皆と一緒に年を越す。初めて浦安以外で過ごす正月だった。拓斗さんと一緒に近くの神社に初詣はしたが、「浦安のみんな」と一緒にいないことに寂しさがこみ上げてきて、自分でも思いもかけず泣いていた。「浦安で暮らさないと、結婚してもうま

くない」と打ち明け、浦安で新婚生活を過ごす。

披露宴は今年7月を予定している。例大祭が終わった後の勢いでやりたいという思いからだ。祭は4年分のパワーチャージの場所だ。「振り返ってみれば祭り基準の人生になってる」と笑う。

西組若衆は「いると安心する場所」。一方で、男性中心の若衆組織の中で、自分が存在する意味について考え始めている。「近づきにくいと感じる人もいるかもしれないけど、もっとオープンで、女性も若い人も入りやすい組織にしたい」。力強く語った。

取材執筆・泉澤多美子

Q&A

祭りの参加に寄付は必要なのでしょうか

例大祭は氏子組織や町会など団体の種類を問わず全て自費運営だ。神酒所の設置や運営にかかる費用、例大祭当日の休憩時のまかないや弁当代などは寄付に支えられている。

寄付をしないと神輿が担げないわけではないが、心付けや参加料の気持ちで出すのがマナーといえるかもしれない。5,000円程度からが目途というが、神酒所には寄付者と額が書かれた寄付看板が設置されるので、参考にしてもいいだろう。



長島八雲神社例大祭

6月30日(金) 御輿渡御
江戸川区東葛西2-34-20

葛西の祭禮は浦安との関わりが多く、浦安から大勢が担ぎに行っていることからいつ頃からか浦安担ぎの地すりをやらせてもらうようになり、今では葛西の祭の風物詩にもなっているようだ。

長島町の八雲神社の例祭は3年に一度。今年はコロナ明けから初めて実施される。



きゃつとtimesを置いて頂いてるお店

猫実珈琲店・URAYASUmarkets・さつまや・Restrant Bar CAL CAL・もぐもぐキッチン・Crambon・どんぐりころころ・浦安花輪・飯田歯科医院・Grow hair works・BARBER bro's・かね政・アパマンショップ・船宿吉久・カット FLAT・ゆうか Coffee・肉のマルナカ・伊藤モータース・ダイニング夢・テラコッタ・ICHIROTEI・柗田・日本酒よつば・和のうだかわ・南大門・秀寿司・LA TIGRE・太月・わかば歯科・芝田電気店・ボンボン



編集委員会だより

私たち「きゃつとタイムス編集委員会」は、豊受神社西組若衆OBら猫実に住む祭り好き有志で結成しました。編集委員会では、祭り命!の生粋の「浦安っ子」も、三社例大祭を初めて体験するという方にも、祭を楽しんでもらえる情報発信ができればと思っています。次号は6月1日発行予定。無断掲載・複写・引用・データ配信などは固く禁じます。

★バックナンバーはこちらから

<https://urayasu-sanja.com>